

「月刊地域医学」が 生まれ変わります！

月刊地域医学は、社団法人地域医療振興協会が発足した 1986年に「地域医療振興協会会報」として刊行されました。1987年1月から「月刊地域医学」と名前を変えて月刊化され、2005年3月までの20年にわたり藤本健一先生が初代編集委員長を務められました。2005年4月に地域医療研究所が発足するとともに所長の山田隆司先生が編集委員長に就任し、現在も続いている編集委員持ち回りによる特集企画やさまざまな連載に加え、日本で唯一の地域医療・へき地医療に特化した学術雑誌として多くの原著論文、総説、症例報告等を掲載してきました。

今回、月刊地域医学刊行 40年を迎えるにあたり、2026年4月号から大幅にリニューアルを行います。まず、これまで毎月刊行してきた紙媒体雑誌を隔月とし、WEB版と交互に発行します。紙誌面には特集、対談、連載、求人情報、JADECOMや自治医大からのお知らせなど、ほぼこれまでの月刊地域医学を踏襲したものを掲載します。WEB版は思い切り学術誌として装いを新たにします。投稿論文は全てWEB版に迅速に公開し、DOIを付与した論文としてJ-Stageで検索可能となります。AI時代にふさわしい英文の抄録作成をサポートしPubMedへの収載を目指していきます。また、多くの方に投稿論文を読んでもらえるよう原著、症例報告、総説に加え、投稿しやすい新ジャンルを創設します。それに併せて、2025年12月から投稿規定も改訂しました。

これまでの親しみやすさに学術的な側面を強化した「シン・月刊地域医学」をJADECOMの会員の皆様そして全国、いや世界で地域医療に携わる皆様にお届けできるよう、編集部一同努力してまいります。今後ともどうかご支援のほどお願いするとともに、なによりも多くの投稿をお待ちしております。

月刊地域医学 新編集委員長
公益社団法人地域医療振興協会 常務理事・日光市民病院管理者
杉田義博